

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 扶桑薬品工業株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 541-0045 大阪市中央区道修町1丁目7番10号	
本票作成	部署名：生産本部岡山工場施設課				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	医薬品製造 従業員:293人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	1	岡山工場		岡山県浅口郡里庄町里見9033番地	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 28)年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	7,368 t CO ₂	6,239 t CO ₂	7,294 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 28)年度排出量
	1	岡山工場	6,239 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 27 年度 ～ 平成 31 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(28)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	1.9 %	1.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産金額	原単位当たり排出量		
		基準年度	(28)年度	目標年度
		69.54 t CO ₂ /(億円)	68.22 t CO ₂ /(億円)	68.84 t CO ₂ /(億円)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 28 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・生産量が減少し総排出量は削減しているが、原単位当たりの排出量は昨年と比べ0.9%悪化している。(5箇年計画の目標値は達成)
 ・設備更新等の省エネルギーへの取組みは計画通りに実施している。

【推進体制】

- ・省エネルギー法に基づきエネルギー推進者を中心としたエネルギー管理組織を編成。
- ・各工場では、エネルギー管理責任者を中心に省エネルギーを推進している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	<p>(平成28年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED照明の更新 <ul style="list-style-type: none"> 品質管理棟3階 (CO2削減量 0.88tCO2/年) 工場棟2階 (CO2削減量 1.24tCO2/年) ・水処理ブロワー4基を1基に集約しインバーター制御を行う (CO2削減量 21tCO2/年) ・滅菌冷却水戻り水廃熱利用 (CO2削減量 53tCO2/年) <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED照明の更新 <ul style="list-style-type: none"> 品質管理棟2階 (CO2削減量 1tCO2/年) 工場棟6階 (CO2削減量 1.2tCO2/年)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・機器の更新及び新設時は省エネ性の高い物を選択する。
- ・省エネルギー実施の為、既設製造ラインにエネルギー計測器（電力・エア）及び非生産室に温湿度測定器を設置し見える化を強化する。
- ・電力はデマンド制御を行い設定値を超過させない。
- ・環境省推進のライトダウンキャンペーンに参加する。
- ・新入社員研修時に省エネルギー及び環境の教育訓練を実施する。
- ・7月1日～9月30日の間、夏期省エネルギー計画を実施する。